

# 第46回愛知県障害者技能競技大会

## ホームページ種目 競技課題

### 1 競技課題

競技課題は次の2つで構成される。

- ①事前課題
- ②競技課題（競技当日に公開される）

### 2 事前課題

#### (1) 事前課題の概要

愛知県にある城を紹介するホームページの作成を依頼された想定で事前課題を制作する。

※事前課題の作品は、競技当日にも使用する。

※事前課題は、インターネットに接続されないローカルな環境で閲覧可能な静的コンテンツとして用意する。

#### (2) 事前課題の要件

##### [概要]

- ・愛知県にある城を紹介するホームページを作成する。
- ・PC以外にも、タブレットやスマートフォンでも閲覧できるものとする。
- ・写真などを多用して、城の魅力を紹介したい。

##### [想定する閲覧者]

- ・全国のお城めぐりをしており、愛知県の城を訪れたい観光客
- ・愛知県を訪れた際の観光名所のひとつとして考えている観光客 など

##### [目的]

- ・訪問する人が必要とする情報を伝える。
- ・お城や愛知県の魅力を発信し、観光客の増加につなげる。

##### [制作ページの構成]

#### ① トップページ (index.html)

- ・ロゴマークを作成し、トップページ内で使用すること（名称に関しては各自で考案する）
- ・画像3点を用いたスライドショーを作成し掲載する。

#### ② お城紹介ページ (castle.html)

- ・城の概要や場所などを分かりやすく掲載する。

### (3) 事前課題に関する仕様

- ・こちらから提供する画像やテキストなどを使用して、テーマに沿ったホームページを作成する。
- ・トップページには、提供された内容以外にも、必要だと思われる内容を考えて掲載する。その際、必要であれば画像等各自で用意して活用してもよい。(ただし、知的財産権には十分留意すること)
- ・ナビゲーションは制作するページ以外にも必要だと思われるページへのリンクを設定する。
- ・ソースコードも評価の対象とする。見やすく分かりやすいソースコードになるよう配慮すること。
- ・レスポンシブデザインに対応すること。

(スマートフォン：320px～767px    タブレット：768px～1279px    デスクトップ：1280px 以上)

- ・文字コードには UTF-8 を使用すること。
- ・作品は、他人の力を借りず、競技者自身が今回の競技のために新たに作成すること。

#### [使用して良い技術]

- ・HTML、CSS、JavaScript、jQuery (最新版)、CSS フレームワーク (Bootstrap (最新版))

#### [使用してはいけない技術]

- ・各種プラグインや CMS など上記で指定された以外の技術

### (4) 事前課題の提出

・USB メモリもしくは CD/DVD 1 枚に保存し、競技者の氏名を記入して、大会当日に競技会場へ提出すること。

- ・USB メモリもしくは CD/DVD には、事前課題で使用していてもサンプルの HTML や CSS ファイル、スクリプト、利用方法のメモ、その他素材を含めておいてもよい。競技当日は、受付で預かり、中身を確認後、各競技者のデスクトップに入れたもののみ参照可能である。

※ただし、市販品の素材は認めない。あるいは、市販の HTML/CSS/JS 等のサンプル集を含めておくこともできない。あくまで本人が事前に制作したものに限る。なお、提出された USB メモリもしくは CD/DVD の内容は、競技前に競技委員が確認する。

## 3 当日課題 (参考)

※以下は、当日課題をイメージするために参考として公表する。

事前課題の作品に含まれる素材を活用し、競技時間内に新たな要件に従い、作成する。

- ・競技時間は 3 時間とする。(途中休憩 1 時間)
- ・作品の提出は、大会側が用意する備え付けの USB メモリに保存する。

#### [注意事項]

- ・与えられたパソコンにインストールされているソフトウェアは自由に使用してよい。
- ・市販の参考図書は原則として 1 冊までの持ち込みを認める。(持ち込む参考図書は受付時に提出し、競技委員が内容を確認した上で使用を認める)

- ・ノートやメモ紙の持ち込みは認めない。
- ・事前作品と素材の入った USB メモリもしくは CD/DVD は、受付で回収し、競技終了後に返却する。

#### [新たな要件]

- ・追加ページの制作
- ・その他の追加要素

### 4 本競技で求められる技能

#### (1) ウェブサイトデザイン

- ・利用ユーザや利用目的を理解し、適切に情報を伝達できるデザインができること
- ・インターフェースにおけるアクションに対して、想定通りのリアクションを構築できること
- ・ユーザビリティに配慮したデザインができること

#### (2) HTML・CSS

- ・指定されたデバイスや利用場所、利用目的を考慮し、適切な画面の実装ができること
- ・HTML および CSS について W3C 標準に準拠したコーディングが行えること
- ・構造化された HTML を記述できること
- ・各種画像フォーマットを理解し特性を生かしたイメージデータを作成することができること
- ・コンテンツに対して、適切なアニメーションや表現を構築できること

#### (3) フロントエンド

- ・クライアントサイドに用いるスクリプトのプログラミング技能を備えていること

#### (4) アクセシビリティ

- ・アクセシビリティに配慮したデザインができること
- ・アクセシビリティガイドライン (WCAG) に基づいた実装ができること

### 5 評価について

本競技では、「4 本競技で求められる技能」について評価を行う。配点は下表のとおりである。

評価項目	配点
ウェブサイトデザイン	30
HTML・CSS	35
フロントエンド	15
アクセシビリティ	20
合計	100

## 6 当日の稼働環境

### ハードウェア

ノート PC	CPU	Intel Core i5-4200M
	メモリ	8GB
	画面解像度	1366×768 ドット

### ソフトウェア

OS	Microsoft Windows 10 Pro	
ブラウザ	Google Chrome	最新版
	FireFox	最新版
	Microsoft Edge	最新版
テキストエディタ	TeraPad	フリーソフト
	Visual Studio Code (英語)	フリーソフト
	Sublime Text (英語)	フリーソフト
	Adobe Dreamweaver (日本語)	
グラフィックソフト	Adobe Photoshop (日本語)	
	Adobe Illustrator (日本語)	